

2021年7月21日

令和3年度 VOL.17

《 カフェで
涼しく観賞 》

夏本番、水盤に彩り

「サンパチェンス」が咲いています

国営ひたち海浜公園では、砂丘エリアのガラスハウスにて、サンパチェンスが咲いています。海へと続いていくような景色が楽しめるガラスハウスの池の中に、室内から見てシンメトリーとなるよう鉢を設置。トロピカルで鮮やかな色合いの花が夏の花風景を演出します。まぶしい太陽と、青い空、白い雲とともに水鏡に映る花は、盛夏の訪れを感じさせてくれます。



ガラスハウス前のサンパチェンス(2021年7月19日撮影)

◆暑さに強く、真夏も休まず咲き続けます

サンパチェンスはツリフネソウ科インパチェンス属の種間雑種として開発された品種です。品種名は、サン(Sun:太陽)とペイシエンス(Patience:忍耐)に由来。真夏の強い日差しにも耐え、5~6cmほどの花を次々に咲かせます。春から秋まで長い期間花を楽しむことができ、一株でも大きく成長する特徴を持ちます。花色も豊富で、当公園では赤、白、ピンク、オレンジ、紫、薄紫の6色を植栽しています。

場所:ガラスハウス 株数:約140株 花期:7月中旬~10月上旬

◆池に設置するのには理由があります

暑さに強いサンパチェンスですが、葉からの蒸散量が多いため、鉢植えの場合は土の渇きが早くなってしまうことがあります。当公園では、池の中に鉢を設置することにより水不足を防ぎ、盛夏にしおれてしまうことを防いでいます。

◆「天日ほしいもジェラート」を新メニューで楽しむ!

ガラスハウスに併設のカフェ「Sea Side Cafe」では、ひたちなか市の特産品「ほしいも」のジェラートを使った2種類のスイーツが新登場。「天日ほしいもジェラート」は、ひたちなか市産ほしいもを混ぜ込んだ、やさしい甘さが特徴のさつまいもジェラート。「奥久慈たまごのシフォンケーキ~天日ほしいもジェラート添え~」は、たまごの風味とふんわり食感にジェラートを添えて味わえます。



ガラスハウスからの風景(2021年7月19日撮影)



(左)天日ほしいもジェラート、(右)奥久慈たまごのシフォンケーキ~天日ほしいもジェラート添え~

Information
みはらしの丘ではコキアが生育中。
現在は20~30cmほどの大きさです。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4